



企画 / 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター(武内恵美子) 主催 / 京都市立芸術大学

2024年  
10月27日午後7時〜午後8時30分  
(午後6時30分開場)受講料無料 事前申込制  
(先着順)定員50名(全席自由)

司会進行

武内恵美子

演奏 三弦

費堅蓉

津軽三味線

椿紅静月 / 地歌三絃 松浪千静

楽箏・俗箏

野田美香

古箏

毛 Y

尺八

善養寺恵介

古箏

武内恵美子

三味線・箏・尺八  
中国発祥の楽器・日本での発展日本の伝統音楽で使用される楽器のほとんどは、実は中国から  
伝来したものです。なかでも三味線・箏・尺八は独自の発展を遂げ、  
日本伝統音楽の代表的な楽器となりました。  
今回はこの三味線・箏・尺八の三種類の元となる中国の楽器・音楽と、  
飛躍的に展開した日本の楽器・音楽を比較鑑賞します。  
双方を比べて視聴できるこの貴重な機会をお見逃しなく！

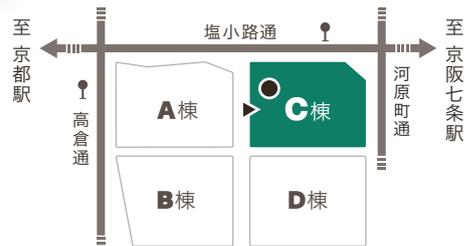
会場

## 京都市立芸術大学 多目的ギャラリー

京都市下京区下之町57-1 (C棟6階)

- 地下鉄烏丸線・JR各線・近鉄京都線「京都」駅下車 徒歩6分
- 京阪電車「七条」駅下車 徒歩10分
- 市バス 4・7・16・81・205・南5号系統「塩小路高倉・京都市立芸術大学前」下車すぐ

構内に駐車場はございません。各種公共交通機関をご利用のうえご来場ください。



受付期間

2024年 10/8 (火) 10:00~10/18 (金) 17:00 (WEB申込のみ)

※ 下記の案内ページに設置する専用申込フォームよりお申込みください。 ※ 期間内でも定員に達した場合は受付を終了します。

申込方法詳細 ▶ [https://www.kcua.ac.jp/20241027\\_denon65kokai](https://www.kcua.ac.jp/20241027_denon65kokai)本講座は10月26日から10月27日に開催する第14回日中音楽比較研究国際会議・シンポジウムのプログラムとして実施します。  
シンポジウム全体に関する情報は、日本伝統音楽研究センターウェブサイト (<https://rijtm.kcua.ac.jp/>) にてご確認ください。

問合せ

第65回公開講座「三味線・箏・尺八」関連

京都市立芸術大学事務局 共創テラス・連携推進課

TEL 075-585-2006 (平日 8:30~17:15)

E-mail public@kcua.ac.jp

日中音楽比較研究国際シンポジウム関連

日中音楽比較研究国際シンポジウム実行委員会

E-mail nicchuongaku@gmail.com

(武内 恵美子)

京都市立芸術大学  
Kyoto City University of Arts<https://www.kcua.ac.jp>

# 三味線・箏・尺八

## 中国発祥の楽器・日本での発展

## 演奏者紹介

中国・上海出身。日本でも活躍する中国民族楽器大三弦の演奏家。その他、中阮、柳琴、月琴、古琴、古筝和琵琶などの演奏にも優れ、演奏活動も行う。10歳で「中国上海人民広播電台少年合唱団楽団」に入団。上海音楽学院付属高校を経て、上海音楽学院で民族撥弦楽器、民族理論、作曲を習う。上海音楽学院在学中の1993年に「中国第三回音楽作品コンクール」で最優秀賞を受賞した大三弦独奏曲「邊寨之夜」は、大三弦の演奏法に革新をもたらし、中国音楽史上に残る作品と評価された。卒業後は「上海電影楽団」への入団、作曲家神津善行氏主宰の「六華仙」への参加など、日本をはじめ、アジア諸国、オーストラリア、アメリカなど世界各地で幅広く演奏活動を行っている。近年の活動として、広島島の厳島神社高舞台で開催された世界文化遺産登録10周年記念事業「宮島 厳島神社 新緑の星空奉納コンサート 費堅蓉とフュージョンリード」での友好演奏や、世界の有名な映画音楽を大三弦特有の演奏技法で演奏するコンサートなども行っている。

三弦 費堅蓉  
フェイジャンロン

津軽三味線を高橋静山・静女の両師に師事。津軽三味線弾き唄いをベースに、民謡・歌謡曲・オリジナルなど様々なジャンルを演奏。2001年、和楽器ユニット「響喜」結成。2007-10年、アートユニットENに参加、舞踊・演劇・書・和楽器のコラボレーション作品を制作。その経験から、他の三味線音楽への関心が高まり、地歌・上方唄を松浪千壽、義太夫三味線を豊澤住輔の各師に師事。ジャンルの枠を越えて「三味線」の魅力を追及しながら、様々なパフォーマーとの共演や創作活動を行う。2011年の東日本大震災以降、東北民謡と改めて向き合い、5度の岩手ツアーを行う一方、関西でも「東北の音と糸」コンサートを重ねる。2023年より、三味線と歌で物語を描くソロ企画「千静のうた絵巻」シリーズを継続中。

津軽三味線 椿紅 静月  
つばいしづき

地歌三絃 松浪 千静  
まつなみせんしづ

箏(生田流)、楽箏(雅楽)演奏家。6才6月6日より箏を始める。東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。同大学院修了。宮城会コンクール入賞。NHK邦楽オーディション合格。ソロでの活動の他、「彩音」「箏座」「ら・ぶりさ」のメンバーとして演奏活動・CD録音及び教授活動を行う。また、伶楽舎(雅楽のグループ)では楽箏奏者として古典曲・現代作品の演奏等を行う。国立劇場音楽公演の他、米国・ヨーロッパ・アフリカなど海外の音楽祭に多数出演。

俗箏・楽箏 野田 美香  
のだみか

北京生まれ。東京音楽大学特任教授、World Music Academy主宰、中国箏琴海外学会理事長、TG BAND メインメンバー。(中国)中央音楽学院古箏実技専攻首席卒業、東京芸術大学修士・博士学位取得、(米)コロンビア大学客員研究員。日本文科省科研費で「日本箏製作技法による古箏」及び「WS移柱転調箏」を考案。器楽ミュージカル『老北京胡同』を原作独創。カーネギーホール・メインホールにてソロ公演。即興演奏アルバム『荒城の月』が(米)世界音楽賞銀賞受賞及び全米第18回独立音楽賞ノミネート獲得。

古箏 毛 Y  
マオヤ

公式ウェブサイト: <https://www.maoyamusic.com>

東京芸術大学邦楽科卒業、同大学院修士課程修了。在学中は山口五郎師(人間国宝)に師事。1999年、第1回リサイタルを開催以来、現在に至るまで15回を重ね、2017年では文化庁芸術祭大賞を受賞。2000年、尺八教則本「はじめての尺八」(音楽之友社刊)を執筆。2002年、日本伝統文化振興財団賞受賞。同年、世界宗教者国際会議(於 カンタベリー大聖堂)にて招待演奏。2006年、箏曲山田流の山登松和氏と共に古典ユニット「ZEN YAMATO」結成。2018年、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。2019年、胡弓の高橋翠秋、地歌の藤本昭子、義太夫三味線の鶴澤津賀寿と共に「古典立脚による新たな邦楽創造」を掲げたユニット「SATZ」活結成。2020年、紫綬褒章を受章。東京芸術大学および有明教育芸術短期大学の非常勤講師を経て、古典を中心とした演奏活動のほか、関東各地にて尺八普及のための尺八教授活動を行っている。

尺八 善養寺 恵介  
ぜんようじけいすけ

公式ウェブサイト: <http://zenyoji.jp/>

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター准教授。総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻修了、博士(学術)取得。国立音楽大学助手、秋田大学教育文化学部准教授を経て現職。儒教の楽思想及び古琴の日本における受容と展開等を研究。古琴は国家級非物質文化遺産古琴芸術代表性传承人である吳鈞氏に師事。

古琴 武内 恵美子  
たけのうち えみこ

\*尺八は日本のもののみ演奏します。(「尺八」は中国では廃れましたが、日本では残存し発展した楽器・音楽です。)

## 第14回 日中音楽比較研究 国際会議・シンポジウム

10.26-10.27 開催  
SAT SUN

主催 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター

1995年に初開催以来、「日中音楽比較研究国際会議・シンポジウム」は日中両国で13回にわたって開催され、多くの実りある研究成果を収め、日中両国の音楽学者にとって交流を行う重要なプラットフォームとなっています。

今回は、約60名の日中の音楽研究者が集い、講演・個人発表・パネルディスカッションを行います。



詳細は日本伝統音楽研究センターウェブサイト内シンポジウム案内ページをご覧ください。

一般聴講も募集 ▶ シンポジウムの聴講を希望される方は「専用申込フォーム」からお申込みいただけます。  
「第14回日中音楽比較研究国際会議・シンポジウム」・「第65回公開講座」のいずれも、こちらからお申込みいただけます。  
各イベントの案内ページにてご確認ください。